



生きる力を豊かにたくましく あいほうぶだより

ピース班 滋賀県へ！

NO. 263 責任者
青山 茂次郎

楽しい施設旅行



いろとりどりのカーテンの下で



風鈴の音に耳を
奪われる利用者のみなさん



函館山は快晴でした



キャンプファイヤーを楽しみました



ミシガンクルーズで琵琶湖を周遊

10月24、25日に2年ぶりの施設旅行に行きました。今年はピース班の参加で、滋賀県へ出かけました。念願の旅行とあって、朝から利用者も送り出す家族も期待で、笑顔があふれていました。

1日目はミシガンクルーズで琵琶湖を周遊。心地いい風が吹くと自然と顔があがり、目をつむって風

を感じる姿が見られました。宿泊先ではキャンプファイヤーと花火を楽しみました。2日目は快晴の中箱館山に登りました。風鈴の小道では風鈴の音色に耳を澄ませたり、高島ちぢみで作られた虹のカーテンを通ると、色とりどりのカーテンを見つめたりと様々なアクティビティを楽しんでいました♪

藤白台小学校の皆さんと交流しました

10月2日、社会福祉協議会を通じて、藤白台小学校の4年生の皆さんに宇宙(そら)班の利用者3名が会ってきました。「講話や体験学習を通して、障がいのある方の生活や想いに触れ、『自分たちにできること』を考えるきっかけにしたい。」という福祉教育の一環です。

最初に施設の紹介をしました。あいほうぶ祭で来たことがある方が多くいて、私たちも嬉しく感じました。続いて「利用者さんからのお話」として、杉尾さんが事前に用意した手紙(本人は大きな声を出して話しにくい)をスタッフが代読しました。60年前、障がいがある理由で学校には通えず、



質問に答える利用者みなさん

家族が支えてくれた事等を語りました。生徒さん達からは、「街で障がいのある方に出会ったら、どういう風に声を掛けたいですか？」等の質問があり、関心を持っている事がよく分かりました。

また翌日は、同小学校の2年生が「まち探検」として、施設を訪問してくれました。1階の宇宙班やプールを見てもらい、施設に通う利用者の事や施設の設備についてしっかり質問されており、沢山のことを学ぶ機会になったかと思います。



温水プール見学の様子

海を肌で感じよう！

10月11日に、すぷりんぐ班の所外活動で、大阪南港にある「サンタマリア号」に乗船しました。今年度「海を感じよう！」を班のテーマとして、オーシャンドラムを作成しサザンオールスターズの「TUNAMI」に合わせて演奏したり、Wiiのマリンスポーツのゲームをしたりと、この所外活動に照準を合わせて、取り組みをしてきました。

駐車場に着いた時から海の香りを感じました。



のどかな海にうっとりリラックス



乗船前に皆でカシャッ

天候にも恵まれて、海面に反射する太陽が眩しく心穏かに、出航を待ちました。

出航の際は、汽笛や港にいる人が手を振って見送ってくださり、気分も上がります。いざ海に出ると、船の揺れは心地よく、沖に出れば出るほど潮の香りを強く感じます。滅多に乗る事の無い船や間近に感じる海に、利用者みなさんは笑顔が溢れたり、黄昏たりと普段施設にいる時とは違った表情を見せてくれました。長閑な海に良い思い出をもらいました。

小高さんと一緒に考えよう

9月のあいほうぶだよりで長崎の原爆被害者の救済等に命をかけられた、永井隆さんの事を載せました。すると読者の方から、永井さんの物語の演劇をYouTubeで観る事ができる事を教えて頂きました。今回は、その事についてと小高さんの感想を交えて紹介します。



「The Tale of TAKASHI NAGAI」

がそのタイトルで、外国の方でも視聴できるように、英語の字幕付きです。

この演劇は島根の高校の先生である亀尾佳宏さんが脚本と演出を手掛けた、雲南市創作市民演劇のみなさんによるものです。島根県は永井隆さんの故郷でもあり、長崎から遠く離れた所でも、誇りにされている事に、偉大さを感じずにはいません。

この劇は永井さんが生まれるところから始まり、

奥様との馴れ初めにも触れられています。今まで、インターネットや本でしか触れる事が無かった永井さんを、小高さんは少し身近に感じる事ができたようです。

演劇の冒頭で、「…もし、共鳴する魂があるなら、私の言葉は今亡き人、全ての鐘になって響き続けるでしょう。いとし子よ、汝の近き者を己のごとく愛すべし。これこそ私のそなた達に残す全ての言葉である。」と永井さんの言葉として語られています。劇の最後でも使われているこの言葉がこの物語や永井さんの全ての様な気がすると、小高さんも思われ、このセリフを覚えようとしていました。

43歳という若さで、生涯を閉じられています。このセリフの様に永井氏の気持ちは、私たちみんなに響き続けると思います。また、小高さんも「そうしたい。そうするためにも、映画化やこの様なYouTubeだけでなく、ドラマ化してTVでみんなに観せて欲しい！」と熱望されていました。

リクエストメニュー

エジプト料理!?



エジプト料理を食べた事がありますか？

給食では利用者からのメニューの希望に応えるリクエストメニューの日があります。給食のメニューを自分たちで決める事で、利用者の自己決定する力を育んだり、班のみんなで相談し決めていく工程を大切に取り組んでいます。今回のサマー班のリクエストメニューは、『エジプト料理』!?

エジプト料理にたどり着いたきっかけは・・・「今度ボウリングに行きたいね」と班で話していたところ、「ボウリングの起源ってどこ？」と調べたところ“エジプト”というワードが出てきました！あまり普段口にしないような香辛料が入っていたり、苦手な顔をしている利用者もいましたが、貴重な体験となりました。



各班にエジプト料理の紹介をしました



- ・ダウドバシャ
- ・オレンジレンティルスープ
- ・メハラビヤ

プール・介助浴室を開放しています

土曜日、日曜日にあいほうぶ吹田の温水プールと介助浴室を開放しています。
プールや入浴は、リハビリにも効果的です。ぜひご利用ください。

利用できる方 ・吹田市内にお住まいの障がい者手帳をお持ちの18歳以上の方とその介助者。プールは18歳未満の方も利用できますが、18歳以上の介助者の同伴が必要です。

利用時間 ・10時から16時まで

注意事項 **プール利用について**

- ・混雑を避ける為に定員を設けています。
- ・スイミングキャップが必要です。
- ・受付で障がい者手帳を提示し、手続きをしてください。
- ・観覧者はマスクをして、廊下からご覧ください。
- ・採暖室と更衣室(シャワー室を含む)の利用は原則1組に限ります。



介助浴室利用について

- ・介助浴室の利用は、予約制で、原則前日の17時までです。
- ・原則1時間に1組。
- *ボディソープ、シャンプーはご持参ください。

多目的ホール・会議室が利用できます

(土日9時～17時)

障がい者団体あるいはその支援団体、ボランティア団体などの活動の場、交流の場として利用できます。(事前登録が必要)

編集後記

ノルウェー・ノーベル賞委員

会は十一日、今年のノーベル平和賞を日本原水爆被害者団体協議会に授与すると発表しました。被爆の実相を世界に広げ、核兵器禁止条約へのうねりを作り出した活動が認められたそうです。「大きな犠牲を伴う自らの体験を、平和の為の希望と活動に捧げる事を選んだ全ての方に榮譽を授けたい」との事です。

この号の3ページにも載せている、永井隆さんも天国で微笑んで下さっている事と思います。しかし、今もなお、世界には核弾頭が多く存在し、東ヨーロッパや中東などで毎日、戦闘で沢山の人が脅かされています。永井さんや原爆被害者の方々等、犠牲者を弔う道のりはまだまだ長そうです。

Y



吹田市立障害者支援交流センター あいほうぶ吹田

(吹田市指定管理者 社会福祉法人 さつき福祉会)

吹田市千里万博公園12-27

生活介護事業 06-6816-6895 短期入所事業 06-6816-6897

メール i-staff@s5.dion.ne.jp ファックス 06-6816-6898

ホームページ <http://satuki-fuku.sakura.ne.jp/ihope/index.htm>